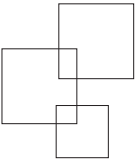


6月定例会では、6月13日から17日にかけて22人の議員が一般質問を行いました。紙面の都合により、質問と答弁の要旨を1人1問ずつ紹介します。
なお、一般質問の様子は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただけます。



お詫び

紙面で発行しました市議会だより(令和7年5月15日号)7ページ 予算特別委員会の項目に誤りがありました。訂正し、お詫び申し上げます。
農林水産費 → 農林水産業費
八王子山古墳特別会計 → 八王子山墓園特別会計
介護保険料特別会計 → 介護保険特別会計



消防体制について



志友会 松川 翼

議員 平成23年と令和6年の救急出動件数について伺います。
消防長 救急出動件数は、23年は9,149件、6年は1万3,715件です。
議員 能登半島地震では、本市からも緊急消防援助隊として職員が派遣されましたが、どのような手当が支給されたのか伺います。
消防長 管理職以外の職員には通常の勤務時間以外で活動した場合などに時間外勤務手当、管理職には活動時間と役職に応じて管理職特別勤務手当を支給しました。また、令和7年1月には特殊勤務手当として緊急消防援助隊手当が新設され、全職員に月額1,080円を支給しました。
議員 平成23年度から機関員、救急、救助、高所業務手当といった特殊勤務手当が廃止されましたが、見直しの背景や理由について伺います。
消防長 本市全体の特殊勤務手当について見直しが行われ、必要性や支給状況の精査により、消防業務の手当の

一部が廃止されました。
議員 災害対応の高度化や多様化により職員の負担は増大しています。現状の手当制度と今後の見直しについて、市長の所見を伺います。
市長 非常に厳しい環境下で業務にあたっていると認識しており、これらの現状を踏まえ、手当の支給要件に照らし合わせ、近隣他市の状況も参考にしながら、救急出動手当と機関員手当を支給したいと考えています。
■その他の質問
・産後ケアについて
・渡良瀬スポーツ広場について



近年の物価高に対する支援等について



創政クラブ 川岸 靖隆

議員 本市における近年の物価高が市民生活に与える影響と、これまで実施された物価高対策について伺います。
企画部長 国の交付金を活用し、低所得者世帯の支援やOTACOのキャンペーン事業などを実施しました。急激な物価高は市民生活への影響が大きいため、今後も国や県の動向を注視し、各種事業を展開していきたいと考えています。
議員 物価高の影響を受ける事業者や農業者が多くいますが、今後の農業を含めた市内事業者への支援について、市長の所見を伺います。
市長 企業も農業従事者も物価高騰により大変な思いをされていることは認識しています。今後も国や社会情勢の動向を注視しながら、県や関係団体と連携を図り、国の補助金などの活用についても、しっかり研究していきたいと考えています。
議員 消費拡大による市内事業者

や市民生活の支援の手段の一つとして、OTACOの上乗せキャンペーンがスピード感もあって有効と考えますが、本年度中に物価高に対する支援策を講じることにについて、所見を伺います。
市長 キャンペーンの実施により、市内経済が活性化され、店舗における消費の下支えが図られるほか、ポイントの上乗せ支援は物価高支援として有効であるため、今年度の実施を目指したいと考えています。
■その他の質問
・教育現場の不審者対策について



本市の自殺対策について



志友会 岩瀬 僚

議員 第2次太田市自殺対策推進計画の基本方針と重点施策について伺います。
福祉こども部長 「誰も追いつめられない社会・太田市の実現」を目指し、関係機関との連携強化、自殺対策を支える人材の育成、積極的な普及啓発、生きることの包括的な支援、児童生徒に対する自殺対策の充実の5つの基本方針を踏まえ、高齢者や生活困窮者、勤務・経営者への支援が重点施策となっています。
議員 相談体制について市民への周知や啓発、情報発信の取り組みについて伺います。
福祉こども部長 市内ショッピングモールなどで啓発物品の配布活動のほか、クリーンプラザの煙突ライトアップや広報誌などの各種媒体を活用して自殺対策の情報発信を行っています。
議員 自殺対策において関係機関、団体との連携強化による対策の強

化と拡充の取り組みが必要であり、東毛地域において本市のモデルを確立することが期待されますが、市長の所見を伺います。
市長 本市で実施している相談事業である「いのちささえる相談」について市民に広く周知し、あらゆる機会ですべての市民が利用できるような環境づくりを、近隣市町村とともに、検討していきたいと考えています。
■その他の質問
・本市のフードバンク事業について



聴覚障がい者への支援体制の拡充について



志友会 八長 孝之

議員 字幕表示システムなどのデジタル機器設置について伺います。
福祉こども部長 ニーズや機器の性能なども踏まえて、今後調査研究をしていきたいと考えています。
議員 本市登録の手話通訳者の過不足や課題について伺います。
福祉こども部長 現状では特段の支障はなく人手不足は感じていませんが、高齢化が進んでおり、人材育成の必要性を感じています。
議員 聴覚障がい者だけでなく、誰とでも意思疎通を円滑に図るため、手話以外のデジタルツールの活用について、市長に所見を伺います。
市長 利用者のニーズを把握し、機器の性能や実用的に活用が可能かどうかを見極めながら検討していきたいと考えています。
議員 聴覚障がいがある人たちの一番のコミュニケーションツールは手話です。手話通訳者などを増やす取り組みを行っていますが、資格取得の

ハードルは高く、前橋市での手話通訳者養成講習を近隣市町村と共同で数年に1度、または東毛地区で開催ができないか、伺います。
市長 多くの方が今後そういった養成研修を受けられるような環境づくりを、近隣市町村とともに、検討していきたいと考えています。
議員 手話言語の普及啓発として行っているクリーンプラザでのブルーライトアップについて伺います。
市長 目立ちにくいことを課題と感じ、他場所での実施を前向きに検討していきたいと考えています。

